

事業担当課一覧（基本事業）

事業番号	基本目標	基本方針	基本事業	プラン記載ページ	取組	担当課①	担当課②	担当課③	担当課④
1	I 確かな生命と元気を育む	1 継続的・包括的な支援の充実	①出産施設開設支援事業	P36	○市内の分娩施設での出産を希望する妊婦が市内で出産できるように、分娩施設開設や増床に対する費用の一部助成等の支援を行います。	健康増進課	-	-	-
2			②子育て世代包括支援事業		○予防的な視点を基本とし、あかちゃん訪問等の訪問型（アウトリーチ型）と健康診査等の参加型（デイサービス型）、2つの型による様々な方法を用いて親子の状況を把握し、必要に応じて相談・援助を行うなどして、適切な支援につながる母子保健事業を実施します。	こども政策課	健康増進課	幼児保育課	-
3			③子育てしやすい環境整備事業		○母子保健事業と子育て支援事業に関わる機関の連携・協力を得て、利用者支援事業の「母子保健型」と「基本・特定型」が連携した子育て世代包括支援事業によって継続的・包括的な支援の推進を図ります。	こども政策課	幼児保育課	こども未来課	-
4		2 発達や養育に悩みを抱える家庭への支援の充実	①産前・産後のサポート/ケア事業	P37	○妊産婦が持つ不安や悩みを軽減するために、産婦人科等の医療機関や助産所に来所してもらった参加型（デイサービス型）の産後ケアや、家庭を訪問する訪問型（アウトリーチ型）の養育支援訪問によって、傾聴や相談（寄添い）を行うとともに、助産師や保健師等による専門的な支援やケアを行います。	健康増進課	こども政策課	-	-
5			②子ども家庭総合支援拠点事業		○家庭児童相談の増加・内容の複雑化に対応したり、虐待から子どもを守ったりするために、子ども家庭総合支援拠点を設置することにより、専門的な相談・支援体制の整備を行います。それにより、すべての子どもとその家庭及び妊産婦に必要なサービスにつなぐソーシャルワークの機能を果たすとともに、関係機関と連携して子育ての孤立化、養育困難等の子育て家庭の状況を把握しながら支援していきます。	こども未来課	-	-	-
6			③児童発達支援センターとの連携		○子育て世代包括支援事業や保育所等で把握した発達が気になる子どもについて、子どもとその家庭を適切な支援につなげるとともに、児童発達支援センターの設置にあわせて連携の強化を図ります。	障害福祉課	こども未来課	-	-
7	II 楽しく着実に育ち学ぶ力を育む	1 教育・保育の提供体制の整備	①教育・保育ニーズにあわせた教育・保育体制の整備事業	P39	○喫緊の課題である待機児童の解消を図るため、産休明けに求められる保育ニーズを的確に把握したり、地域ごとの保育ニーズの特徴を詳細に把握ししながら、各種保育施設や地域型保育事業の特徴をいかした保育体制の整備を行います。	幼児保育課	学務課	-	-
8			②保育人材の確保事業		○利用希望を勘案し、公立・私立の特徴をいかしつつ、計画的に幼稚園・認定こども園の配置・定員管理を行います。	幼児保育課	教育総務課	-	-
9		2 子どもの豊かな育ちの促進	①幼児教育及び保育の推進事業	P40	○幼児期の終わりまでに育ってほしい子どもの姿に向けて、つくば保育の質ガイドラインの活用、幼児教育の指針の制定、幼児教育及び保育に関して高い専門性を有する人材の活用等を図ります。加えて、保育所・幼稚園から小学校・義務教育学校への円滑な移行が可能となるよう、関係機関の連携を強化します。	幼児保育課	学び推進課	-	-
10	②特別な配慮を必要とする子どもの支援事業		○国際化の進展に伴い増加している海外から帰国した幼児や外国人幼児などの外国につながる幼児が、円滑に教育・保育施設等の利用ができるよう保護者への利用者支援を行うとともに、教育・保育施設等に対して受入れ支援を行います。		幼児保育課	特別支援教育推進室	障害福祉課	-	
11	III 主体的にして広く豊かな経験を育む	1 特色をいかした放課後等の居場所の整備	①放課後児童クラブ事業（放課後児童健全育成事業）	P42	○つくばエクスプレス沿線開発による急速な人口増加に伴い、当市の放課後児童クラブニーズが高まり、待機児童や床面積要件超過の課題が生じているため、国の面積要件（児童一人当たり1.65㎡以上）に従い、児童クラブ室の増設や小学校の余裕教室等を活用するなどし、待機児童や床面積要件超過の課題を解決していきます。また、民設民営児童クラブの積極的な誘致を行い、多様な利用ニーズに対応していきます。	こども育成課	（学び推進課）	-	-
12			②放課後子供教室推進事業		○子ども一人ひとりの「遊び場」や「生活の場」である放課後児童クラブにおいて、子どもの自主性と社会性の向上をより一層図るため、国の基準に従って放課後児童支援員の適正配置を推進していきます。また、放課後児童支援員の雇用確保策として、研修機会の拡大や民営児童クラブに対する処遇改善の補助金を拡大していきます。	こども育成課	（学び推進課）	-	-
13			○放課後子供教室の事業拡大のため、市民ボランティアの掘り起こしや人材育成等に努めるとともに、子どもたちにとって放課後の魅力的な選択肢となるように、科学技術、国際性、自然環境等の当市の特性をいかして、研究機関・市民団体等との連携・協力により、多様な体験・交流活動の充実を図ります。		こども育成課	（学び推進課）	-	-	
			○当市では、市内に各地域のニーズに応えるべく多数の児童館があり、放課後子供教室と同様に、様々な体験活動等の行事を実施して、この事業の一役を担っています。よって、計画期間内においては、放課後子供教室の専門の講師による魅力的な行事を児童館でも取り入れ、より一層、子どもたちの放課後の充実を図っていきます。		こども育成課	（学び推進課）	-	-	
14	③子どもの居場所・学習支援事業	○児童館のない小学校区では、子どもたちの居場所づくりのために、事業の推進をより一層強めていく必要があり、各小学校の利用ニーズに応じた放課後子供教室のメニューを実施するとともに、開催回数を増やしていきます。	こども未来課	（学び推進課）	-	-			
2 子どもが主体的に活動するための支援の充実	①新・放課後子ども総合プラン運営事業	P43	○放課後のすべての子どもが主人公になり、多様な体験・活動を行うことができるよう、こども部、教育局及び学校が一体となって放課後対策の共通理解や情報共有を図るとともに、ボランティア等の地域人材を巻き込んで、放課後の居場所づくりを推進していきます。	こども育成課	（学び推進課）	-	-		
			○当市は、全国的に見ても多数の児童館を有しており、児童館のある小学校区では、児童館の機能を活用して、施設内で放課後児童クラブの運営及び行事や遊び等を実施することで、新・放課後子ども総合プランを実施しています。今後もプランの強化のため、児童館の他の機能との調整を図りつつ、児童クラブ室の増築による定員拡大や放課後子供教室で実施する魅力的な遊び等の導入によって、小学校の放課後に関わる児童館機能の充実を図っていきます。						
			○児童館のない小学校区について、子どもたちの居場所づくりのために、放課後児童クラブ及び放課後子供教室の連携をより一層強めていく必要があり、放課後子供教室の開催数の増加に努めるとともに、児童クラブ員を含めた子どもたちが主体的に参加できるよう、学校の施設利用を促進したり、職員間の情報共有や連携を密にしています。						
			○平成30年度に開校した3義務教育学校（学園の森・みどりの学園・秀峰筑波）では、学校敷地内又は近接地の児童クラブ専用施設で、放課後児童クラブの運営と放課後子供教室の定期開催を一体的又は連携して実施しています。つくばエクスプレス沿線開発に伴う新設予定の小学校についても、3義務教育学校の実施モデルを参考に、放課後の居場所づくりに努めていきます。						
15	②特別な配慮を必要とする児童の支援事業	P44	○障がいのある児童、医療的ケアが必要な児童、虐待やいじめを受けた児童及び外国につながる児童等が、主体的に活動を行える放課後の居場所づくりを目指していきます。そのために学校や専門性を有する関係機関と連携を密にし、児童の情報や近況を把握するなどし、受入れ体制を構築していきます。	こども育成課	障害福祉課	（学び推進課）	-		
16	③遊びの機会と場の充実		○プレイパーク等、子どもが自由にのびのびと遊べるような機会・場所を提供し、子どもやその保護者が安全に安心して過ごせる環境を整備します。	公園・施設課	（こども政策課）	-	-		

基本目標 I たしかな生命と元気を育む

基本方針 1 継続的・包括的な支援の充実

担当課

健康増進課

基本事業

①出産施設開設支援事業

プラン記載
ページ

P36

関連するプラン名

■ 事業内容 ■

○市内の分娩施設での出産を希望する妊婦が市内で出産できるように、分娩施設開設や増床に対する費用の一部助成等の支援を行います。

■ 事業概要 ■

○産科、産婦人科を設ける病院、診療所及び分娩を取り扱う助産所を開設しようとする方、あるいは増床しようとしている方に建物の建設費や医療機器購入費などの費用の一部を助成する。

実績

・交付実績なし
・バースセンターでの分娩数が前年度より増加した。
筑波大学附属病院内のつくば市バースセンターの再整備が令和5年11月に竣工予定となり、つくば市内の産科病床数が増加する予定（6床増加）となった。

実績に対する課題・改善方針

○令和4年度あかちゃん訪問時アンケートで、市外・県外の分娩施設で出産した方のうち「市内で予約が取れなかった方」は52人と昨年度より減少した。
○令和5年度に再整備されるつくば市バースセンター（12床）の周知を推進していく。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 I たしかな生命と元気を育む

基本方針 1 継続的・包括的な支援の充実

担当課

こども政策課

健康増進課

幼児保育課

基本事業

②子育て世代包括支援事業

プラン記載
ページ

P36

関連するプラン名

■ 事業内容 ■

○予防的な視点を基本とし、あかちゃん訪問等の訪問型（アウトリーチ型）と健康診査等の参加型（デイサービス型）、2つの型による様々な方法を用いて親子の状況を把握し、必要に応じて相談・援助を行うなどして、適切な支援につながる母子保健事業を実施します。

○地域子育て支援拠点など身近な場所で情報を提供したり、地域で活動する子育て支援者等の協力を得たりしながら、制度の谷間で必要な支援を受けることができずにいる親子を支援につなげる子育て支援事業を実施します。

○母子保健事業と子育て支援事業に関わる機関の連携・協力を得て、利用者支援事業の「母子保健型」と「基本・特定型」が連携した子育て世代包括支援事業によって継続的・包括的な支援の推進を図ります。

■ 事業概要 ■

○地域子育て支援拠点事業

つくば市子育て総合支援センターをはじめ地域子育て支援拠点（10か所）を設置し、地域の子育て親子の交流を促進することで子育ての不安感等を緩和し、子供の健やかな育ちの支援を行っている。具体的には、拠点場所の開放及び出張ひろばを行っており、その中で子育て相談等の支援を行っている。

●市内地域子育て支援拠点

- ・子育て総合支援センター（つくば市流星台）
- ・かつらぎクラブ（つくば市西大橋）
- ・チェリークラブ（つくば市上野）
- ・おとなり（つくば市みどりの）
- ・おひさまクラブ（つくば市高崎）
- ・こどもの森広場（つくば市沼崎）
- ・すぎのこクラブ（つくば市下河原崎）
- ・なないろくらぶ（つくば市大角豆）
- ・ままとーんつどいの広場（つくば市館野）
- ・花畑ひろば（つくば市花畑）

○利用者支援事業（基本型）

子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行う。

実績

○地域子育て支援拠点事業

- 令和4年度利用実績
- ・子育て総合支援センター
（けやき広場（拠点）30,283人、出張ひろば559人（94回））
- ・かつらぎクラブ（拠点1,458人、出張ひろば101人（25回））
- ・チェリークラブ（拠点4,265人、出張ひろば46人（25回））
- ・おとなり（拠点8,088人、出張ひろば265人（23回））
- ・おひさまクラブ（拠点2,188人、出張ひろば109人（24回））
- ・こどもの森広場（拠点3,261人、出張ひろば場251人（23回））
- ・すぎのこクラブ（拠点4,249人、出張ひろば214人（23回））
- ・なないろくらぶ（拠点3,556人、出張ひろば95人（23回））
- ・ままとーんつどいの広場（拠点2,023人、出張ひろば未実施）
- ・花畑ひろば（拠点3,833人、出張ひろば241人（25回））
- ・合計（拠点63,204人、出張ひろば1,881人（285回））

※コロナの影響により、出張広場の回数差あり。

※オンラインでの利用者は除く。

●令和3年度の課題に対する取組

- ・つくば駅徒歩圏内のBiViつくばで出張子育て広場を開始した。
- ・TX沿線での常設の拠点開設に向けて、民間事業者等と調整を進めた。

○利用者支援事業（基本型）

- ・令和4年度相談実績：287件（来所253件、電話34件）
- ・令和4年度から開始の事業のため、専用のパンフレットを作成し、関係機関へのPR活動及び連携を図るため、庁内関係部署、公立及び民間の保育所・幼稚園、小児科などを巡回し、パンフレットの配布を行った。また、市内外の子育て支援団体との勉強会を行った。

実績に対する課題・改善方針

○地域子育て支援拠点事業

- ・将来的に、TX沿線に常設の拠点を1か所以上開設できるように、民間事業者等と継続的に調整を行う。
- ・参加人数が少ない出張子育て広場があるため、SNS等を活用した周知など広報活動を積極的に行う。

○利用者支援事業（基本型）

- ・今後は、関係機関とのさらなる連携・協働体制構築のため、日々の相談業務における連携のほか、子育て支援団体や子育て支援拠点と打ち合わせ等を行い、協力体制を図っていく。また、子育て支援拠点等へ向くとといった支援を行う。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 I たしかな生命と元気を育む

基本方針 1 継続的・包括的な支援の充実

担当課

こども政策課

健康増進課

幼児保育課

基本事業

②子育て世代包括支援事業

プラン記載
ページ

P36

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○予防的な視点を基本とし、あかちゃん訪問等の訪問型（アウトリーチ型）と健康診査等の参加型（デイサービス型）、2つの型による様々な方法を用いて親子の状況を把握し、必要に応じて相談・援助を行うなどして、適切な支援につながる母子保健事業を実施します。

○地域子育て支援拠点など身近な場所で情報を提供したり、地域で活動する子育て支援者等の協力を得たりしながら、制度の谷間で必要な支援を受けることができずにいる親子を支援につなげる子育て支援事業を実施します。

○母子保健事業と子育て支援事業に関わる機関の連携・協力を得て、利用者支援事業の「母子保健型」と「基本・特定型」が連携した子育て世代包括支援事業によって継続的・包括的な支援の推進を図ります。

■ 事業概要 ■

○保健師等がおおむね生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問する「乳児家庭全戸訪問事業（あかちゃん訪問）」により、育児に関する不安や悩みの傾聴・相談、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握等を行う。また、妊婦健康診査事業により疾病の早期発見、妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対して、健康状態の把握、検査計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じて医学的検査を実施する。

○「母子保健型」利用者支援事業として、母子保健コーディネーター、保健師等の専門職を配置し、妊娠届出時の面接等の機会を通し、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応し、必要な支援につなぐための相談等を行う。また、妊娠9か月ごろに初妊婦及び要支援妊婦に対し、電話相談等を行い、必要に応じて支援計画を作成し、支援計画に策定されたサービスについては、本人、家族、関係機関との調整のうえ、必要な支援が提供されるように連絡・調整を行う。

実績

実績に対する課題・改善方針

○利用者支援事業（母子保健型）「つくば市母子健康包括支援センター」

①妊娠届出時面接 2,255件

②転入妊婦面接 190件

③妊娠9か月電話相談 670件

④母子保健コーディネーター 3名配置

⑤利用者支援事業（母子保健型） 4か所

○妊婦健康診査 25,771人（償還払い含）

○あかちゃん訪問 2,293件 実施率 96.7%

○母子保健コーディネーターが1人増員で3名配置となったため、相談や対応件数が増加し、相談者に対してもきめ細やかな相談ができた。

○妊娠届出時や転入妊婦に対し、セルフプランシートを活用して必要な支援につなげた。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 I たしかな生命と元気を育む

基本方針 1 継続的・包括的な支援の充実

担当課

こども政策課

健康増進課

幼児保育課

基本事業

②子育て世代包括支援事業

プラン記載
ページ

P36

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○予防的な視点を基本とし、あかちゃん訪問等の訪問型（アウトリーチ型）と健康診査等の参加型（デイサービス型）、2つの型による様々な方法を用いて親子の状況を把握し、必要に応じて相談・援助を行うなどして、適切な支援につながる母子保健事業を実施します。

○地域子育て支援拠点など身近な場所で情報を提供したり、地域で活動する子育て支援者等の協力を得たりしながら、制度の谷間で必要な支援を受けることができずにいる親子を支援につながる子育て支援事業を実施します。

○母子保健事業と子育て支援事業に関わる機関の連携・協力を得て、利用者支援事業の「母子保健型」と「基本・特定型」が連携した子育て世代包括支援事業によって継続的・包括的な支援の推進を図ります。

■ 事業概要 ■

○乳幼児等が発熱等の急な病気となった場合、病院・保育所等に付設された専用スペースで看護師等が保育する病児保育の受け入れ施設数の充実を図る。

○保育コンシェルジュ事業、子育て家庭等からの保育サービスに関する相談に応じ、地域における保育所や各種の保育サービスに関する情報提供や利用に向けての支援などを行う。

実績

実績に対する課題・改善方針

○令和4年度利用実績
・病児保育 6施設
（うち休止1施設、補助実績なし1施設）
・病後児保育 4施設（うち休止1施設）
※延べ利用人数 1,121人

○令和4年度保育コンシェルジュ相談件数 1,314件
（令和3年：1,254件）
窓口：1,002件（令和3年：924件）
電話：312件（令和3年：330件）

○病児、病後児保育については、利用者の利便向上及び配慮を要する児童の受入れが課題となっている。そのため市及び各施設のホームページの見直しを行った。また、配慮を要する児童の受入れについては、各施設の担当者との意見交換を継続的に実施している。

○令和4年度の保育コンシェルジュの窓口での相談件数が前年から増加し、電話での相談が減少していることから、新型コロナウイルスの影響は落ち着いたものと考えられる。令和4年度に保育所申請の電子申請を本格化したことにより、相談機会が減り、コンシェルジュへの相談が増加したものと考えており、引き続きホームページの充実等で保育情報の発信を強化していく。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 I たしかな生命と元気を育む

基本方針 1 継続的・包括的な支援の充実

担当課 **こども政策課** 幼児保育課 こども未来課

基本事業 ③子育てしやすい環境整備事業

プラン記載ページ P36

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○保護者の突発的な事情などにより保育が必要となった場合のために子どもを一時的に預かる事業の充実や、あかちゃんの駅の設置等の安心して外出できる環境整備を図ります。

■ 事業概要 ■

- 一時預かり（子育て総合支援センター（つくば市流星台））
保護者の事情などにより保育が必要となった場合のために子どもを一時的に預かる。
- つくば子育てサポートサービス（ファミリー・サポート・センター事業）
つくばファミリーサポートセンターを設置し、児童の預かり援助を受けたい者と当該援助を行いたい者との連絡・調整を行うことで、地域における育児の相互援助活動を推進する。
主なサービス：保育サービス、送迎サービス、家事援助サービス
- つくば市あかちゃんの駅
乳幼児を抱える子育て家庭を応援する取り組みの一環として、外出中に授乳やオムツ替えなどで立ち寄ることができる施設を「つくば市あかちゃんの駅」として登録する。あかちゃんの駅では、授乳の場、おむつ替えの場、ミルク用のお湯の提供を行う（提供内容は施設によって異なる）。

実績

実績に対する課題・改善方針

- 一時預かり（子育て総合支援センター（つくば市流星台））
・年間預かり人数2,046人（令和3年度1,697人）
・インターネット予約を開始し利用者が予約しやすい環境にした。
- つくば子育てサポートサービス（ファミリー・サポート・センター事業）
・会員数1,424人（令和3年1,365人）
（利用会員1,211人、協力会員171人、利用・協力会員42人）
・年間利用者数690人（令和3年512人）
・主なサポート内容（200回以上のもの）
育児困難（親の障害、育児ストレス等）701回
保護者等の外出の場合の援助460回
保育者の短時間・臨時的就労の場合の援助309回
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり268回
・協力会員を増やす取り組み
チラシの配布や退職予定の保育士等へ協力会員登録を依頼した。
未研修の登録会員に対して年に一度行っていたサポーター基礎研修を2回実施した。また、広く一般に向け市報やSNSで研修の受講者とサポーターの募集を行った。
・会員登録受付方法の変更
社会福祉協議会の窓口のほか、オンライン、市役所、訪問での登録を開始した。
・父母共同の子育てに対応した新たなパンフレットを作成
- 令和3年度の課題に対する取組
・協力会員を増やすための取り組みを、上記、実績のとおり実施した。また、保育士、幼稚園教諭の有資格者で、現場を離れて間もない者が協力会員となった場合は、活動前に受講する基礎研修の一部の要件を緩和し活動可能とした。
- つくば市あかちゃんの駅
・市内65施設（公共施設：54 民間施設：11）が登録（令和5年1月時点）。
- 令和3年度の課題に対する取組
・児童館での環境整備が課題となっていたことから、全児童館の設備状況を確認し、要望のあったおむつ替え用のベッドや授乳用の椅子などを支給した。
また、つくばエクスプレス駅等も含めた新規施設での実施について検討を進めた。

- つくば子育てサポートサービス（ファミリー・サポート・センター事業）
・支援の依頼が増加傾向にあり、対応するため今後も協力会員を増やす取り組みを継続して行っていく。
- つくば市あかちゃんの駅
・より多くの場所にあかちゃんの駅を設置できるように、引き続き新規施設での実施に向けて調整を進める。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議が必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議が必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標	I たしかな生命と元気を育む		
基本方針	1 継続的・包括的な支援の充実		
担当課	こども政策課	幼児保育課	こども未来課
基本事業	③子育てしやすい環境整備事業		プラン記載ページ P36
関連するプラン			

■ 事業内容 ■

○保護者の突発的な事情などにより保育が必要となった場合のために子どもを一時的に預かる事業の充実や、あかちゃんの駅の設置等の安心して外出できる環境整備を図ります。

■ 事業概要 ■

○家庭において保育を受けることが一時的に困難な乳幼児について、主として昼間、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所で一時的に預かり、必要な保育を行う。

実績	実績に対する課題・改善方針
令和4年度利用実績 ○一時預かり（一般型） 38施設 （うち補助実績なし8か所） ○一時預かり（幼稚園型） 1施設 ※延べ利用人数 21,232人	○実施施設数は増加しているが、利用定員が設定されているため、利用者の希望日に利用できない場合がある。利用者にとって利用しやすい環境を整えるため、調査・研究していく。 ○実施施設が少なく利用者にとっては不便な地域もある。新規で事業を始める事業者は利用者ニーズに沿った事業実施場所を模索していく。 ○保育士不足により、通常保育以外の事業に保育士を配置できる園が限られている。保育士確保に向けて引き続き助成金等の給付を行っていく。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標	I たしかな生命と元気を育む		
基本方針	1 継続的・包括的な支援の充実		
担当課	こども政策課	幼児保育課	こども未来課
基本事業	③子育てしやすい環境整備事業		プラン記載 ページ P36
関連するプラン			

■ 事業内容 ■

○保護者の突発的な事情などにより保育が必要となった場合のために子どもを一時的に預かる事業の充実や、あかちゃんの駅の設置等の安心して外出できる環境整備を図ります。

■ 事業概要 ■

○子育て支援短期療育事業
 ・家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童養護施設等においてあらかじめ登録した児童を保護者の申請により、ひと月あたり最長7日まで預かる。
 ・今年度の委託契約施設等は、「日本赤十字社茨城県支部乳児院」、「社会福祉法人同仁会 さくらの森乳児院」、「社会福祉法人同仁会 つくば香風寮」、「社会福祉法人筑波会 愛児園」、「社会福祉法人窓愛園」、「社会福祉法人茨城県道心園」の5法人6施設及び里親2世帯。
 ・利用料は、市民税課税の有無、母子家庭等の別、生活保護該当の有無で判定し、1日あたり0円から5,330円に区分しています。

実績	実績に対する課題・改善方針
○事前登録者数：81人（令和4年4月1日時点） 令和4年度新規登録者数：45人 令和4年度延べ利用者数：7人 令和4年度延べ利用日数：33日	○委託施設の受け入れ人数に限りがあるため、里親家庭において児童を預かる「ショートステイ里親」を実施し、受け入れ可能人数を増やしていきます。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 I たしかな生命と元気を育む

基本方針 2 発達や養育に悩みを抱える家庭への支援の充実

担当課 **健康増進課** こども政策課

基本事業 ①産前・産後のサポート/ケア事業 プラン記載ページ P37

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○妊産婦が持つ不安や悩みを軽減するために、産婦人科等の医療機関や助産所に来所してもら参加型（デイサービス型）の産後ケアや、家庭を訪問する訪問型（アウトリーチ型）の養育支援訪問によって、傾聴や相談（寄添い）を行うとともに、助産師や保健師等による専門的な支援やケアを行います。

■ 事業概要 ■

○退院直後に支援が必要な産婦に対し、産後ケア事業の利用を通じて、産婦の心身のケアや育児サポートをすることにより、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を図る。

○養育支援が特に必要な家庭に対し、保健師等がその居宅を訪問し、養育に関する指導・助言を行うことにより、当該家庭の適切な養育を支援する。

実績

実績に対する課題・改善方針

○産後ケア事業
 ①利用施設 7施設
 ②利用者実人数 104人
 <内訳>
 通所個別 22人 短期入所 47人 通所集団 6人
 通所個別+短期入所 22人
 通所個別+通所集団 2人
 短期入所+通所集団 0人
 短期入所+通所個別+通所集団 5人
 ③利用延日数 313日
 <内訳>
 通所個別 112日 短期入所 187日 通所集団 14日
 ○養育支援訪問事業 289件
 ○妊娠9か月電話（該当者） 1,342件

○昨年度より産後ケア事業の利用者は増加している。利用希望者の増加に伴い、希望の日程でサービスが提供できるよう、アウトリーチや新規委託施設の検討を行う。

○妊娠9か月電話時には、セルフプランの内容を確認して妊婦が望む妊娠生活や出産に向けた準備、産後のイメージができるよう支援することができた。

○令和5年2月から伴走型相談支援の1つとして妊娠8か月アンケートがスタートした。妊娠9か月電話から妊娠8か月アンケートにスムーズに移行できるよう、支援体制を整える。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標	I たしかな生命と元気を育む		
基本方針	2 発達や養育に悩みを抱える家庭への支援の充実		
担当課	健康増進課	こども政策課	
基本事業	①産前・産後のサポート/ケア事業		プラン記載ページ P37
関連するプラン			

■ 事業内容 ■	
<p>○妊産婦が持つ不安や悩みを軽減するために、産婦人科等の医療機関や助産所に来所してもら参加型（デイサービス型）の産後ケアや、家庭を訪問する訪問型（アウトリーチ型）の養育支援訪問によって、傾聴や相談（寄添い）を行うとともに、助産師や保健師等による専門的な支援やケアを行います。</p>	

■ 事業概要 ■	
<p>○ホームスタート事業（養育支援訪問事業） 妊娠や子育てに不安を持つ家庭や生活環境等について不適切な養育状態にある家庭等、支援を必要とする家庭に訪問し、寄り添いながら利用者の話を「傾聴」し、家事及び育児等を「協働」により行い問題の解消を図る。（特定非営利活動法人 kosodateはぐはぐ（つくば市手代木）による委託事業として実施）</p>	

実績	実績に対する課題・改善方針
<p>○特定非営利活動法人 kosodateはぐはぐ（会員数及び利用実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数 25人 内訳：トラスティ（業務責任者 1人） ：オーガナイザー（取りまとめ 3人） ※内1名はトラスティを兼ねる。 ：ホームビジター（訪問スタッフ 18人） ：事務スタッフ（4人） ・依頼件数 33件 ・延べ訪問回数 128回 <p>●令和3年度の課題に対する取組 前回の点検・評価において課題としていた、訪問回数の減、及び事業の周知徹底については、委託事業者と連携し子育て関連のイベントに出展し事業のPRを行った。また、庁内他課と連携し、事業のパンフレットを母子手帳交付の際にあわせて配布したり、あかちゃん訪問の際に必要なに応じて配布するなどするとともに、「つくっこ！すくすくアプリ」で事業の配信を行った。</p>	<p>○令和4年度はホームスタート事業を、様々な方法により周知し、それが依頼件数、延べ訪問回数の増加につながったと考える。 今後は単に利用者を増やすだけではなく、必要に応じて運用方法等を見直す等し、利用者、委託事業者、市のいずれにとっても円滑に事業が活用できる制度のあり方を検討していく。</p>

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 I たしかな生命と元気を育む

基本方針 2 発達や養育に悩みを抱える家庭への支援の充実

担当課 **こども未来課**

基本事業 ②子ども家庭総合支援拠点事業

プラン記載ページ **P37**

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○家庭児童相談の増加・内容の複雑化に対応したり、虐待から子どもを守ったりするために、子ども家庭総合支援拠点を設置することにより、専門的な相談・支援体制の整備を行います。それにより、すべての子どもとその家庭及び妊産婦に必要なサービスにつなぐソーシャルワークの機能を果たすとともに、関係機関と連携して子育ての孤立化、養育困難等の子育て家庭の状況を把握しながら支援していきます。

■ 事業概要 ■

○令和4年度までに全市町村で子ども家庭総合支援拠点を設置することが義務化され、つくば市では令和2年9月1日に設置した。

人員配置基準（中規模型：児童人口概ね2.7万人以上7.2万人未満）

- ①子ども家庭支援員 常時3名（1名は非常勤可）
- ②心理担当支援員 常時1名（非常勤可）
- ③虐待対応専門員 常時2名（非常勤可）

つくば市の体制

社会福祉士2名、公認心理師2名、保健師1名、事務担当1名、家庭相談員5名

実績

実績に対する課題・改善方針

(1) 相談件数（延べ）			
・訪問	959件	（昨年比	+ 373件）
・面談	591件	（昨年比	+ 128件）
・電話	8,252件	（昨年比	+ 822件）
・その他	2,430件	（昨年比	+ 965件）
計	12,232件	（昨年比	+2,288件）
新規相談	1,186件	（昨年比	+ 141件）
（うち虐待	323件）	（昨年比	+ 69件）

○相談件数は毎年増加傾向で、また相談内容も多様化、複雑化の傾向にある。継続して、専門職の配置をし、また適時研修などにも参加し、職員の専門職としての知識や能力の向上を図ることにより、様々な相談に対応できるようにしていく。

(2) 相談内容内訳			
育児不安	5,604件		
発達障害等	1,103件		
虐待	3,809件		
不登校	1,159件		
非行（家出等）	51件		
その他	506件	計	12,232件

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 I たしかな生命と元気を育む

基本方針 2 発達や養育に悩みを抱える家庭への支援の充実

担当課 **こども未来課** 障害福祉課

基本事業 ③児童発達支援センターとの連携 プラン記載ページ P37

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○子育て世代包括支援事業や保育所等で把握した発達が気になる子どもについて、子どもとその家庭を適切な支援につなげるとともに、児童発達支援センターの設置にあわせて連携の強化を図ります。

■ 事業概要 ■

○発達相談巡回
 公立保育所を対象に公認心理師が巡回訪問をし、保育所職員が発達について気になった子どもの様子を確認し、保育所と子どもの関わり方等について助言・指導をしていく。

実績

○令和4年度巡回施設数 : 23か所
 令和4年度相談対応のべ児童数 : 349人

実績に対する課題・改善方針

○相談件数の増加、相談内容が複雑化していることから、今年度は公認心理師2名を配置し、多様化する相談に対応した。民間保育園からも要望があり、令和5年度は民間保育園も対象に実施していく。

担当課 自由記述欄 (※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。)

基本目標	I たしかな生命と元気を育む		
基本方針	2 発達や養育に悩みを抱える家庭への支援の充実		
担当課	こども未来課	障害福祉課	
基本事業	③児童発達支援センターとの連携		プラン記載ページ P37
関連するプラン			

■ 事業内容 ■

○子育て世代包括支援事業や保育所等で把握した発達が気になる子どもについて、子どもとその家庭を適切な支援につなげるとともに、児童発達支援センターの設置にあわせて連携の強化を図ります。

■ 事業概要 ■

- 発達の気になる子とその保護者に対し、臨床心理士等が発達相談を実施し、適切な支援につながるよう助言等の支援を行う。（障害福祉課、子育て総合支援センター、保健センターで実施）
- 児童発達支援センター設置に先立ち開設した、障害児相談支援事業で障害を持つ子に対する保護者からの相談に応じ、関係機関等との調整を行う。
- 児童発達支援センター設置に向けて保護者支援の充実を図るため、障害のある子の保護者に対してペアレントトレーニングとペアレントメンターグループ相談会を実施する。

実績	実績に対する課題・改善方針
<p>○発達相談 相談件数：395人（延べ人数）</p> <p>○令和4年度から、ペアレントメンターグループ相談会を開始した（年2回）。参加人数：15人</p> <p>○ペアレントトレーニングを2回実施した。参加人数：10人</p>	<p>○発達が気になる子やその保護者の相談件数は依然多い状況が続いている。今後も関係各課・関係機関と連携を図り、適切な支援につなげていく。ペアレントトレーニングやペアレントメンターグループ相談会などについては、必要な人に広く周知し、保護者支援の事業を充実させていく。</p> <p>また、障害福祉サービス利用などの必要性に応じて障害児相談支援事業の利用を促し、保護者が関係機関との連携を図ることをサポートし、適切な支援につながるようにしていく。</p>

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 II 楽しく着実に育ち学ぶ力を育む

基本方針 1 教育・保育の提供体制の整備

担当課	幼児保育課	学務課		
-----	-------	-----	--	--

基本事業	①教育・保育ニーズにあわせた教育・保育体制の整備事業	プラン記載 ページ	P39
------	----------------------------	--------------	-----

関連するプラン	
---------	--

■ 事業内容 ■

○喫緊の課題である待機児童の解消を図るため、産休明けに求められる保育ニーズを的確に把握したり、地域ごとの保育ニーズの特徴を詳細に把握しながら、各種保育施設や地域型保育事業の特徴をいかした保育体制の整備を行います。

○利用希望を勘案し、公立・私立の特徴をいかしつつ、計画的に幼稚園・認定こども園の配置・定員管理を行います。

■ 事業概要 ■

○保育を必要とするすべての子どもの入所希望に対応して、待機児童の解消を図るとともに、集団保育を通じた心身ともに健全な児童の育成を目指して保育体制の整備を推進する。

実績

実績に対する課題・改善方針

【目標値】
認可保育所、小規模保育事業整備による保育供給量の確保
328名分（2・3号定員）

【実績値】
○特定教育・保育施設、地域型保育事業による保育供給量の確保
395名分増加（2・3号定員）

<内訳>
認可保育所 3施設創設（290名分）
小規模保育事業 5施設創設（81名分）
定員変更・分園設立による増加（24名分）

計 保育供給量 395名分の増加

○待機児童数については、保育施設の整備を積極的に進めたことにより、令和4年4月1日時点の3人に引き続き、令和5年4月1日時点も1人と低い水準で推移している。

○国の待機児童の定義に含まれない潜在待機児童数については100名を超えていることから、引き続き保育の受け皿の確保を行っていく。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 II 楽しく着実に育ち学ぶ力を育む

基本方針 1 教育・保育の提供体制の整備

担当課	幼児保育課	学務課	
-----	-------	-----	--

基本事業	①教育・保育ニーズにあわせた教育・保育体制の整備事業	プラン記載 ページ	P39
------	----------------------------	--------------	-----

関連するプラン	
---------	--

■ 事業内容 ■

○喫緊の課題である待機児童の解消を図るため、産休明けに求められる保育ニーズを的確に把握したり、地域ごとの保育ニーズの特徴を詳細に把握しりしながら、各種保育施設や地域型保育事業の特徴をいかした保育体制の整備を行います。

○利用希望を勘案し、公立・私立の特徴をいかしつつ、計画的に幼稚園・認定こども園の配置・定員管理を行います。

■ 事業概要 ■

○公立幼稚園における、3歳児の受け入れの利用希望を勘案し、手代木幼稚園で令和4年度から実施し、また、高崎・岩崎幼稚園を統合し、荃崎幼稚園として令和5年度から3歳児の受け入れの実施に向けて準備をしていく。

○各幼稚園の定員に対する入園者数等を踏まえ、幼稚園の統廃合を視野に入れた適正な幼稚園の配置を庁内で協議をしていく。

実績

実績に対する課題・改善方針

○手代木南幼稚園で令和4年度から3歳児の受け入れを実施した。

○高崎・岩崎幼稚園を統合し荃崎幼稚園として令和5年度から3歳児の受け入れを実施するため、通園区域等の規則改正や消耗品を購入するなど体制を整えた。

○3歳児の受け入れ人数を見直した。

○各幼稚園の定員に対する入園者数を注視した。

○幼稚園教諭の適正配置
○3歳児保育の成果の把握
○充足率の低い幼稚園の今後の方向性の検討

担当課 自由記述欄 (※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。)

基本目標 II 楽しく着実に育ち学ぶ力を育む

基本方針 1 教育・保育の提供体制の整備

担当課	幼児保育課	教育総務課		
-----	-------	-------	--	--

基本事業	②保育人材の確保事業	プラン記載ページ	P39
------	------------	----------	-----

関連するプラン	
---------	--

■ 事業内容 ■

- 保育士や保育教諭、幼稚園教諭を確保するため、保育士等の処遇改善等を実施します。
- 保育者に選ばれ長く働くことができる保育所等となるように、保育者の適正な配置と良好な労働環境の確保ができるような支援を行います。

■ 事業概要 ■

- 保育人材の確保及び離職防止を図り、質の高い保育を安定的に提供するため、市内の私立保育所等に勤務する常勤保育士等に対して月額3万円の処遇改善助成金を支給する。
- 保育人材の確保及び定住促進を図るため、市内の私立保育所等に新たに勤務し、つくば市に転入した常勤保育士等に対して家賃の2分の1（最大2万円/月）の就労促進助成金を支給する。
- ハローワークとの共同事業により、保育士人材確保のための支援を行う。

実績	実績に対する課題・改善方針
<p>○つくば市保育士等処遇改善助成金 令和2年度交付決定者 延べ769人（決算額249,330千円） 令和3年度交付決定者 延べ869人（決算額282,480千円） 令和4年度交付決定者 延べ942人（決算額302,670千円）</p> <p>○つくば市保育士就労促進助成金 令和2年度交付決定者 延べ34人（決算額4,168千円） 令和3年度交付決定者 延べ29人（決算額4,225千円） 令和4年度交付決定者 延べ39人（決算額6,924千円）</p> <p>○ハローワークとの共同事業 保育施設の見学ツアーを開催し、保育の仕事に興味のある求職者3名が参加した。</p>	<p>○助成金事業により保育人材確保に一定の成果が見られている。今後も新規施設の整備に伴う人材確保が求められるため、保育士養成施設等を含めた広報活動が引き続き必要と考えられる。</p> <p>○ハローワークとの共同事業は、新型コロナウイルス感染症拡大状況を考慮しながら企画検討していく。</p>

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 II 楽しく着実に育ち学ぶ力を育む

基本方針 1 教育・保育の提供体制の整備

担当課

幼児保育課

教育総務課

基本事業

②保育人材の確保事業

プラン記載
ページ

P39

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○保育士や保育教諭、幼稚園教諭を確保するため、保育士等の処遇改善等を実施します。

○保育者に選ばれ長く働くことができる保育所等となるように、保育者の適正な配置と良好な労働環境の確保ができるような支援を行います。

■ 事業概要 ■

○幼稚園教諭の人員確保及び適正配置

○保育を充実させるための外部人材の活用

実績

○総務部人事課が実施する「必要となる専門職に関する調査」により、新規採用職員の確保に努めた。

○健全な幼稚園運営と幼稚園教諭一人ひとりにとって働きやすい職場環境となるよう、管理職の意見だけでなく、全ての幼稚園職員と人事面談を実施し、適正な人員配置に努めた。

○年度途中の育児休業等による欠員補充のため、育休代替のための任期付職員の募集を行った。

○ほかの出先機関における管理員等の配置状況を調査し、関係機関と協議を行い管理員の配置に努めた。(学務課)

実績に対する課題・改善方針

○幼稚園職員の働き方改革を進めるうえで、職員の増員が必要であるが、市の財政状況から、大幅な増員が難しい。

○年度途中の職員欠員に対する人員の補填が難しい。公募してもなかなか人材が集まらないという課題はあるが、育休代替任期付職員の募集を必要に応じて行っていくとともに、市独自の講師登録制度の拡充についても検討を進める。

担当課 自由記述欄 (※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。)

基本目標 II 楽しく着実に育ち学ぶ力を育む

基本方針 2 子どもの豊かな育ちの促進

担当課

幼児保育課

学び推進課

基本事業

①幼児教育及び保育の推進事業

プラン記載
ページ

P40

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○幼児期の終わりまでに育ってほしい子どもの姿に向けて、つくば保育の質ガイドラインの活用、幼児教育の指針の制定、幼児教育及び保育に関して高い専門性を有する人材の活用等を図ります。加えて、保育所・幼稚園から小学校・義務教育学校への円滑な移行が可能となるよう、関係機関の連携を強化します。

■ 事業概要 ■

- 保育の質の確保・向上を実現するため、一人ひとりの職員の資質向上及び職員全体の専門性の向上を図ります。
- 施設での体験教育・体験保育を実施するとともに、異年齢児交流・世代間交流事業を実施します。
- 就学前における子どもの遊びと体験の充実を図ります。
- 幼・保・小が連携を強化し、交流事業を行うことにより、小学校・義務教育学校への円滑な接続を図ります。

実績

- 保育士研修
 - ・子どもの非認知能力を向上させるための研修 130人
- 交流事業
 - ・園庭開放
 - ・幼保小交流
 - ・保育所交流
 - ・支援センター交流
 - ・中高生との交流
 - ・地域の方との交流

実績に対する課題・改善方針

- 子どもの非認知能力の向上については教育の基礎として位置づけられている分野であるため、引き続き教育局と連携していくことが重要となる。
- 新型コロナウイルス感染予防のためオンラインや所内での研修を中心に行われたが、直接対面による研修のニーズもあることから、感染拡大状況を考慮しながら開催を検討していく。
- 新型コロナウイルス感染拡大を背景に、直接対面する交流事業は中止されることがあったが、今後は感染拡大状況を考慮しながら開催を検討していく。

担当課 自由記述欄 (※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。)

基本目標 II 楽しく着実に育ち学ぶ力を育む

基本方針 2 子どもの豊かな育ちの促進

担当課

幼児保育課

学び推進課

基本事業

①幼児教育及び保育の推進事業

プラン記載
ページ

P40

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○幼児期の終わりまでに育ってほしい子どもの姿に向けて、つくば保育の質ガイドラインの活用、幼児教育の指針の制定、幼児教育及び保育に関して高い専門性を有する人材の活用等を図ります。加えて、保育所・幼稚園から小学校・義務教育学校への円滑な移行が可能となるよう、関係機関の連携を強化します。

■ 事業概要 ■

【幼児教育の指針・保幼小の連携について】
「つくば市教育大綱」や「つくば市教育指導方針」では、幼児教育において育成されてきた非認知能力の重要性を再認識することや、「幼児期に育ってほしい10の姿」を幼小間で共有し、その上で連続性と一貫性のある教育を実現することの必要性を重視している。
また、これらを実現するために様々な施策を実施する。

実績

実績に対する課題・改善方針

○幼稚園訪問や小学校訪問時には、つくば市教育大綱やつくば市教育指導方針の方向性を広く周知するとともに、保育参観・授業参観を行い、その方針に則った指導・助言を行っている。
また、幼小の接続カリキュラムの作成や実践を呼びかけ、幼稚園ではアプローチカリキュラムを、小学校ではスタートカリキュラムを作成している。
加えて、幼児と児童の交流活動や保育者と教員の交流を実施している。
今年度は、県の幼児教育アドバイザーである筑波大学水野智美准教授を講師に招き、対面とオンラインのハイブリッドによる幼保小の合同研修会を実施し、幼保小連携や接続の必要性について理解を深めることができた。

○つくば市の方針や目指す方向性を幼稚園や学校にさらに周知・浸透させることができるよう、機会を捉えてより具体的な指導・助言を行い、主に非認知能力の育成を図っていく必要がある。
また、これまで作成してきた接続カリキュラムの見直しや改善を継続し、より幼児や児童の実態や地域の実情、必要性に応じたものにしていくことが求められる。
さらには、架け橋プログラムを意識した効果的な交流の在り方を検討し、人的交流に加えて、保育・指導内容を共有し合える仕組みを構築していくことを目指していく。

担当課 自由記述欄 (※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。)

基本目標 II 楽しく着実に育ち学ぶ力を育む

基本方針 2 子どもの豊かな育ちの促進

担当課	幼児保育課	特別支援教育推進室	障害福祉課
-----	-------	-----------	-------

基本事業	②特別な配慮を必要とする子どもの支援事業	プラン記載ページ	P40
------	----------------------	----------	-----

関連するプラン	
---------	--

■ 事業内容 ■

○国際化の進展に伴い増加している海外から帰国した幼児や外国人幼児などの外国につながる幼児が、円滑に教育・保育施設等の利用ができるよう保護者への利用者支援を行うとともに、教育・保育施設等に対して受入れ支援を行います。

○発達が気になる子どもが円滑に教育・保育施設等の利用ができるように保護者への利用者支援を行うとともに、教育・保育施設等が専門的な知識・技術による支援を受けられるように、児童発達支援センターとの連携を図ります。

■ 事業概要 ■

○子ども又は保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じて相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を行う。

○民間保育園等に補助金を交付するなどをして、特別な支援が必要な幼児の教育・保育施設での受入れ、職員配置等の体制整備を図る。

○公立保育所において、公認心理師による発達相談巡回支援を行う。

実績

実績に対する課題・改善方針

<p>○保育コンシェルジュ実績</p> <p>【相談件数】 窓口 1,002件、電話 312件</p> <p>【主な相談内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等について ・一時預かり保育等について 等 <p>○民間保育園障害児保育補助事業費補助金 令和4年度実績 33園 87,321千円</p> <p>○公立保育所発達相談巡回 令和4年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>上半期</td> <td>23園</td> <td>180人</td> </tr> <tr> <td>下半期</td> <td>23園</td> <td>169人</td> </tr> </table>	上半期	23園	180人	下半期	23園	169人	<p>○より多様で、繊細な相談内容も増えており、それらに対応できるよう更なる情報の収集や知識の習得が必要である。</p> <p>○加配保育士等の不足により、保育所受け入れを保留せざるを得ないケースがある。加配が必要と判断される児童の入所選考方法等について、調査・研究していく。</p> <p>○令和5年度から、より加配職員の雇用状況に沿った補助内容に改正した。</p> <p>○令和5年度から民間保育園においても、巡回相談を実施する。</p>
上半期	23園	180人					
下半期	23園	169人					

担当課 自由記述欄 (※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。)

基本目標 II 楽しく着実に育ち学ぶ力を育む

基本方針 2 子どもの豊かな育ちの促進

担当課	幼児保育課	特別支援教育推進室	障害福祉課
-----	-------	-----------	-------

基本事業	②特別な配慮を必要とする子どもの支援事業	プラン記載ページ	P40
------	----------------------	----------	-----

関連するプラン	
---------	--

■ 事業内容 ■

○国際化の進展に伴い増加している海外から帰国した幼児や外国人幼児などの外国につながる幼児が、円滑に教育・保育施設等の利用ができるよう保護者への利用者支援を行うとともに、教育・保育施設等に対して受入れ支援を行います。

○発達が気になる子どもが円滑に教育・保育施設等の利用ができるように保護者への利用者支援を行うとともに、教育・保育施設等が専門的な知識・技術による支援を受けられるように、児童発達支援センターとの連携を図ります。

■ 事業概要 ■

※上記事業内容の下段の事業のみ該当（児童発達支援センターは未だ開所していないことから、関連する令和4年度実績のみ記入）

○特別な支援や配慮を必要としている幼児について、特別支援教育指導員が就学相談に応じるとともに学校見学や体験学習にも同行し、安心して就学を迎え、適切な教育環境でそれぞれの力を伸ばせるよう支援する。併せて、公立幼稚園を巡回訪問し、随時、支援や配慮が必要な幼児の実態把握や指導助言を行う。

実績

○未就学児（3歳児、4歳児、5歳児）の就学相談件数410件、幼稚園・保育所等に出向いての幼児観察118件、学校見学や体験学習の引率、学校等との打合せ・引継ぎ等168件、公立幼稚園巡回相談及び発達検査87件を実施した。複数回の相談や見学・体験、話し合いなど、可能な限り同一の指導員が対応し本人・保護者と共に就学を考えることで、納得した就学先決定ができ、安心して入学を迎えることができた。市ホームページに相談票を掲載し就学相談前に記入して持参できるようにしたことにより、相談時間の確保につながった。

実績に対する課題・改善方針

【課題】
就学相談に関わった幼児については、就学に関する情報提供を受け、話し合いをもつことで適切な就学先の選択が可能になるが、心配を感じながらも就学相談に関わらずに就学を迎えた場合は入学後に困難さを抱えることもある。

【改善方針】
市内幼稚園・保育所・福祉支援センター等へのポスター配付や市ホームページでの周知を行い、就学相談の内容やスケジュール等について広く周知し、気軽に相談ができるよう支援する。入学後に小学校を巡回し、困難さに対する具体的な助言を行う。

基本目標 II 楽しく着実に育ち学ぶ力を育む

基本方針 2 子どもの豊かな育ちの促進

担当課

幼児保育課

特別支援教育推進室

障害福祉課

基本事業

②特別な配慮を必要とする子どもの支援事業

プラン記載
ページ

P40

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○国際化の進展に伴い増加している海外から帰国した幼児や外国人幼児などの外国につながる幼児が、円滑に教育・保育施設等の利用ができるよう保護者への利用者支援を行うとともに、教育・保育施設等に対して受入れ支援を行います。

○発達が気になる子どもが円滑に教育・保育施設等の利用ができるように保護者への利用者支援を行うとともに、教育・保育施設等が専門的な知識・技術による支援を受けられるように、児童発達支援センターとの連携を図ります。

■ 事業概要 ■

○発達の気になる子や保護者に対し、臨床心理士等が発達相談を通じて、子どもが保育所等の生活に適應できるよう助言等の支援を行う。また、保護者の同意を得て、支援内容の助言等を保育所等と共有し、適切な利用ができるように支援する。

○児童発達支援センターの開設に先立ち、障害児相談支援事業を開始し、障害を持つ子に対する保育所等や障害サービスの利用が円滑にできるよう相談に応じ、関係機関等との調整を行う。また、保育所等訪問支援事業では、発達が気になる子どもが保育所等で集団に適應できるような専門的な支援を保育所等に訪問して実施する。

実績

- 発達相談 相談件数：395人（延べ人数）
（基本目標 I-2③ 実績の再掲）
- つくば市障害児相談支援事業所
計画相談件数（基本相談、継続相談含む）：94人
（延べ人数）
- つくば市保育所等訪問支援事業所
訪問支援件数：49人（延べ人数）

実績に対する課題・改善方針

○発達の気になる児童の保育所等の生活への適應に関する相談は、保護者や保育所などの関係機関からも寄せられている。関係各課・関係機関と連携しながら、個々の児童の必要性に応じて障害児相談支援や保育所等訪問支援につなぎ、保育所等における適應を促す支援をしていく。また、保護者の同意を得て、保育所等の関係機関に対して支援方法の助言等も行っていく。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 III 主体的にして広く豊かな経験を育む

基本方針 1 特色をいかした放課後等の居場所の整備

担当課 **こども育成課**

基本事業 ①放課後児童クラブ事業（放課後児童健全育成事業） プラン記載ページ P42

関連するプラン

■ 事業内容 ■

〇つくばエクスプレス沿線開発による急速な人口増加に伴い、当市の放課後児童クラブニーズが高まり、待機児童や床面積要件超過の課題が生じているため、国の面積要件（児童一人当たり1.65㎡以上）に従い、児童クラブ室の増設や小学校の余裕教室等を活用するなどし、待機児童や床面積要件超過の課題を解決していきます。また、民設民営児童クラブの積極的な誘致を行い、多様な利用ニーズに対応していきます。

〇子ども一人ひとりの「遊び場」や「生活の場」である放課後児童クラブにおいて、子どもの自主性と社会性の向上をより一層図るため、国の基準に従って放課後児童支援員の適正配置を推進していきます。また、放課後児童支援員の雇用確保策として、研修機会の拡大や民営児童クラブに対する処遇改善の補助金を拡大していきます。

■ 事業概要 ■

〇放課後に保育を受けることができない児童に対して、公営のみならず民間事業者が運営する児童クラブを活用しながら、遊びを主とした生活の場・活動の場を提供する。

〇つくばエクスプレス沿線開発による急速な人口増加やライフスタイルの変化に伴う児童クラブニーズの高まりにより、待機児童や児童館内の飽和状態などの喫緊の諸課題が発生しているため、児童クラブ員の受入れ枠を拡大する取組を進める。

〇配慮が必要な児童への対応方法等について児童館職員向けに研修会を実施するとともに、民営児童クラブの指導員の処遇改善を図るための補助事業を実施する。

実績

実績に対する課題・改善方針

〇待機児童や床面積要件超過の課題解決
 ・竹園東児童館及び今鹿島小学校児童クラブ敷地内の児童クラブ、葛城小学校児童クラブ（かつらぎ交流館）について、令和4年度から児童の受け入れを開始した。また、香取台小学校及び研究学園小学校敷地内に児童クラブの整備を行った。
 ・みどりの学園義務教育学校の多目的室を新規に借用することで、みどりの学園児童クラブの定員拡充を図った。

〇民設民営児童クラブの積極的な誘致
 ・国の補助金を活用し、3つの民間事業者の児童クラブ室整備を実施した。

〇放課後児童支援員の雇用確保策
 ・公営児童クラブにおいては、近隣の大学や専門学校の学生をターゲットとし、大学等に訪問し募集情報の掲示やちらしの設置を依頼した。

・民営児童クラブにおいては、支援員の処遇改善を支援した。具体的には、既存のキャリアアップ補助金、処遇改善補助金に加え、令和4年度に「放課後児童支援員月額賃金改善補助金」を新設した。

〇つくばエクスプレス沿線の小学校については、児童クラブの需要が急速に増大しており、引き続き①児童クラブ室の整備、②小学校の余裕教室等の活用、③民設民営児童クラブの積極的な誘致を進めていく必要がある。

〇公営、民営児童クラブともに放課後児童支援員確保が十分にできていない状況が続いている。そのため、公営児童クラブにおいては、広報紙、ホームページ等を活用するとともに、「つくスマ」アプリや、近隣大学生等をターゲットとした周知活動を継続していく。合わせて、民営児童クラブにおいては、処遇改善関連補助事業を継続して実施する。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議が必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 III 主体的にして広く豊かな経験を育む

基本方針 1 特色をいかした放課後等の居場所の整備

担当課

こども育成課

基本事業

②放課後子供教室推進事業

プラン記載
ページ

P42

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○放課後子供教室の事業拡大のため、市民ボランティアの掘り起こしや人材育成等に努めるとともに、子どもたちにとって放課後の魅力的な選択肢となるように、科学技術、国際性、自然環境等の当市の特性をいかして、研究機関・市民団体等との連携・協力により、多様な体験・交流活動の充実を図ります。

○当市では、市内に各地域のニーズに応えるべく多数の児童館があり、放課後子供教室と同様に、様々な体験活動等の行事を実施して、この事業の役割を担っています。よって、計画期間内においては、放課後子供教室の専門の講師による魅力的な行事を児童館でも取り入れ、より一層、子どもたちの放課後の充実を図っていきます。

○児童館のない小学校区では、子どもたちの居場所づくりのために、事業の推進をより一層強めていく必要があり、各小学校の利用ニーズに応じた放課後子供教室のメニューを実施するとともに、開催回数を増やしていきます。

■ 事業概要 ■

○市内小学校及び義務教育学校等において、余裕教室等を利用し、全児童対象に放課後子供教室を開催する。地域住民の参画を得て、様々な体験活動や交流活動等を行い、豊かな遊びと学びの機会を提供する。

実績

実績に対する課題・改善方針

○地域人材の掘り起こし
こども未来課主催の「ボランティア登録説明会」で、市が実施する放課後子供教室の取組を紹介したことから、新規の教育活動推進員や教育活動サポーターを増やすことができた。

【地域ボランティア協力者数】
・コーディネーター 14人 (令和3年度 15人)
・教育活動推進員 859人 (令和3年度 549人)
・教育活動サポーター 1,066人 (令和3年度 727人)
合計 1,939人

○放課後子供教室の実施について
市内小学校及び義務教育学校の余裕教室や体育館等を利用した放課後子供教室のほか、児童クラブ施設内に専用スペース（交流ひろば）を設け、「一体型」放課後児童教室の定期的な実施体制を整備してきた。

これまで、平成30年度に秀峰筑波児童クラブ施設の2階で「秀峰交流ひろば」を開設し、現在は週5日開室するとともに、令和元年度には学園の森児童クラブ及びみどりの学園児童クラブ施設の各新館の1階に「学園の森交流ひろば」及び「みどりの交流ひろば」を開設し、令和3年度までは週3日、令和4年度からは、週4日開室しており、交流ひろばにおける放課後子供教室の実施回数を年々増やしてきた。

なお、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、子どもたちが安全かつ安心して参加ができるプログラムと場を職員とボランティアが協力して提供した。

【参加児童数（延べ）】
・16,599人 (令和3年度 10,707人)

○一部の学校では、余裕教室等がない、または、余裕教室等があっても、新型コロナウイルス感染症対策（三密の回避）をとることができない広さの教室であった等の理由から、事業を実施することができなかった。

そのため、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症対策は、「個人・事業者の判断が基本」となることから、教育局と連携を強化し、学校施設を活用した放課後子供教室の実施が可能となるよう学校側に働きかけを行っていく。

担当課 自由記述欄 (※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。)

基本目標

Ⅲ 主体的にして広く豊かな経験を育む

基本方針

1 特色をいかした放課後等の居場所の整備

担当課

こども未来課

基本事業

③子どもの居場所・学習支援事業

プラン記載
ページ

P42

関連するプラン

--

■ 事業内容 ■

○経済的に困難を抱える世帯の子どもに対する支援として、地域や実施団体、大学、学校等と連携しながら、学習支援や安心できる居場所の提供を行います。

■ 事業概要 ■

○支援団体との協働による「つくばこどもの青い羽根学習会」の実施（学習支援＋居場所支援）

(1)学習支援

勉強の復習、宿題の習慣づけ、学び直し、受験のための進学支援等を利用者個々人の状況に応じて指導するとともに、ひとりで学習できる力を身につけられるようにする。

(2)居場所支援

利用者が安心して通える場所として、社会性や自己肯定感を持つための支援を行い、将来への関心や生きる力をつけられるようにする。

実績

実績に対する課題・改善方針

○つくばこどもの青い羽根学習会

・学習支援拠点数：16か所

・利用登録者数：341人（R5.3月末時点）

10事業者との協働事業として、それぞれ特色のある教室を提供できており、利用者が利便性や特色に合わせて教室を選択できるようになった。各教室へのアンケートで、テストの点数が上がった、授業がわかるようになった、勉強習慣が付いてきたという回答が多数みられた。不登校の生徒が学習の遅れを取り戻して高校に合格し、進学後も継続利用している事例もある。

○つくばこどもの青い羽根学習会

青い羽根学習会への支援対象者である小中学生は市内に約1,300名いるが、支援につながっている児童生徒は約340名と一部であることから、今後も新たな拠点を設置するとともに、案内通知やアウトリーチを強化し参加人数を増やしていく。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標 III 主体的にして広く豊かな経験を育む

基本方針 2 子どもが主体的に活動するための支援の充実

担当課

こども育成課

基本事業

①新・放課後子ども総合プラン運営事業

プラン記載
ページ

P43

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○放課後のすべての子どもが主人公になり、多様な体験・活動を行うことができるよう、こども部、教育局及び学校が一体となって放課後対策の共通理解や情報共有を図るとともに、ボランティア等の地域人材を巻き込んで、放課後の居場所づくりを推進していきます。

○当市は、全国的に見ても多数の児童館を有しており、児童館のある小学校区では、児童館の機能を活用して、施設内で放課後児童クラブの運営及び行事や遊び等を実施することで、新・放課後子ども総合プランを実施しています。今後もプランの強化のため、児童館の他の機能との調整を図りつつ、児童クラブ室の増築による定員拡大や放課後子供教室で実施する魅力的な遊び等の導入によって、小学校の放課後に関わる児童館機能の充実を図っていきます。

○児童館のない小学校区について、子どもたちの居場所づくりのために、放課後児童クラブ及び放課後子供教室の連携をより一層強めていく必要があり、放課後子供教室の開催数の増加に努めるとともに、児童クラブ員を含めた子どもたちが主体的に参加できるよう、学校の施設利用を促進したり、職員間の情報共有や連携を密にしていきます。

○平成30年度に開校した3義務教育学校（学園の森・みどりの学園・秀峰筑波）では、学校敷地内又は近接地の児童クラブ専用施設で、放課後児童クラブの運営と放課後子供教室の定期開催を一体的又は連携して実施しています。つくばエクスプレス沿線開発に伴う新設予定の小学校についても、3義務教育学校の実施モデルを参考に、放課後の居場所づくりに努めていきます。

○放課後児童クラブ及び放課後子供教室の一体的な実施を推進するために、地域住民への呼びかけや地域ボランティアを募るなど、地域の実情を把握している人材の掘り起こしや育成支援を行っていき、地域全体を巻き込んだ事業展開を目指します。

■ 事業概要 ■

○教育局や学校と連携し、利用ニーズに応じて放課後子供教室の開催数を増やし、放課後の居場所づくりを推進していく。

○多様な体験活動を行えるよう、児童館における行事等の充実や特色ある放課後子供教室を開催していく。

○新設予定の小学校については、平成30年度に開校した3義務教育学校（学園の森・みどりの学園・秀峰筑波）で実施する放課後児童クラブの運営と放課後子供教室の定期開催をモデルとして、放課後の居場所づくりに努めていく。

実績

実績に対する課題・改善方針

○児童館機能の充実
・竹園東児童館の敷地内に建設した児童クラブ室の利用を開始した。

○放課後子供教室の実施回数
令和4年度 491回（前年度比165回の増）
内訳

- ・市内小学校及び義務教育学校 101回
- ・秀峰交流ひろば 120回
- ・学園の森交流ひろば 134回
- ・みどりの交流ひろば 136回

○交流ひろばにおける放課後子供教室の定期開催
令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策をしながら、「秀峰交流ひろば」は週5回、「学園の森交流ひろば」・「みどりの交流ひろば」は週4回の定期開催を行い、うち「秀峰交流ひろば」は週2回、「学園の森交流ひろば」・「みどりの交流ひろば」は週1回の学習支援を実施した。
なお、令和4年度から「学園の森交流ひろば」・「みどりの交流ひろば」の実施回数は、利用児童数の増加に伴い、令和3年度までの週3回から、週4回に増やしている。

○令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、小学校等の体育館や余裕教室を利用した学校開催の放課後子供教室の実施回数が当初の見込みより減少した。

そのため、これまで児童クラブ員を含めた子どもたちが放課後子供教室へ主体的に参加できるような体制をこども部、教育局及び学校の間で整えてきたところだが、今後も三者間で情報共有や意見交換等を図り、放課後児童クラブ及び放課後子供教室の一体的な実施を推進し、実施回数を増加させていく。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標

Ⅲ 主体的にして広く豊かな経験を育む

基本方針

2 子どもが主体的に活動するための支援の充実

担当課

こども育成課

障害福祉課

基本事業

②特別な配慮を必要とする児童の支援事業

プラン記載
ページ

P44

関連するプラン

--

■ 事業内容 ■

○障がいのある児童、医療的ケアが必要な児童、虐待やいじめを受けた児童及び外国につながる児童等が、主体的に活動を行える放課後の居場所づくりを目指していきます。そのために学校や専門性を有する関係機関と連携を密にし、児童の情報や近況を把握するなどし、受入れ体制を構築していきます。

■ 事業概要 ■

○公営児童クラブでは、障がいのある児童の受入れのために、学校から当該児童の日々の学校生活における意見書を提出していただき情報の把握に努め、状況に応じて加配の放課後指導員を配置する。

○民営児童クラブでは、障がいのある児童の受入れのために、加配の放課後指導員を配置した場合に、運営委託料に加算をして人件費の補助を行う。（国庫補助事業の活用）。

実績

実績に対する課題・改善方針

○公営児童クラブ
障がいのある児童の受入れについて、学校長の意見書や保護者を通じた医師の診断書等の提出により児童の情報把握をするとともに、各児童館・児童クラブにおいて、予算の範囲内で加配の職員を配置することができた。

○民営児童クラブ
障がいのある児童を受け入れるために、加配の放課後指導員を配置し、委託料を加算した児童クラブは、38クラブあった。（前年度比13クラブの増）

○放課後児童支援員の募集
近隣の大学や専門学校を直接訪問し、学生へ向けた公営児童クラブ放課後児童支援員募集情報の掲示やちらしの設置を依頼した。

○障害のある児童を受け入れるために、加配の放課後指導員が必要となった場合に、職員の募集をしても、すぐには見つからない状況である。そのため、令和4年度は近隣の大学に加え、初めて市内の専門学校にも直接訪問し、学生に対して募集情報の周知を行ったことから、令和5年度も近隣の大学や専門学校への募集活動を継続する。合わせて、募集の方法や指導員の処遇改善を研究・検討していく必要がある。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

基本目標

Ⅲ 主体的にして広く豊かな経験を育む

基本方針

2 子どもが主体的に活動するための支援の充実

担当課

こども育成課

障害福祉課

基本事業

②特別な配慮を必要とする児童の支援事業

プラン記載
ページ

P44

関連するプラン

--

■ 事業内容 ■

○障がいのある児童、医療的ケアが必要な児童、虐待やいじめを受けた児童及び外国につながる児童等が、主体的に活動を行える放課後の居場所づくりを目指していきます。そのために学校や専門性を有する関係機関と連携を密にし、児童の情報や近況を把握するなどし、受入れ体制を構築していきます。

■ 事業概要 ■

○障害のある児童に対して、放課後等デイサービス等を支給決定することで、授業の終了後や学校の休業日に、生活能力の向上のために必要な訓練や社会との交流の促進を支援する。

実績

○放課後等デイサービス 支給決定者数791人
○障害児相談支援 支給決定者数335人

実績に対する課題・改善方針

○放課後等デイサービスの利用者数が増加傾向にあるが、サービス利用者の数と比較すると、障害児相談支援の利用者が少ない。
個々の利用者に適したサービスを提供するため、相談支援の必要性について理解を求め、利用を推進していく。

担当課 自由記述欄 (※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。)

基本目標

Ⅲ 主体的にして広く豊かな経験を育む

基本方針

2 子どもが主体的に活動するための支援の充実

担当課

公園・施設課

基本事業

③遊びの機会と場の充実

プラン記載
ページ

P44

関連するプラン

■ 事業内容 ■

○プレイパーク等、子どもが自由にのびのびと遊べるような機会・場所を提供し、子どもやその保護者が安全に安心して過ごせる環境を整備します。

■ 事業概要 ■

- プレイパーク場の機会、場所の提供
- ・流星台プレイパーク：つくば市流星台59番地
 - ・中央公園：つくば市吾妻二丁目7番地5
 - ・研究学園駅前公園：つくば市学園南二丁目1番地

実績

- ・流星台プレイパーク：4団体（年間2,790人）
プレイパーク場維持管理等の実施
【除草、材料の提供】
- ・中央公園：1団体（毎月30人程度）11回実施
- ・研究学園駅前公園：1団体（毎月30人程度）12回実施

実績に対する課題・改善方針

○プレイパーク参加団体からの報告により、施設に対する要望などを確認した。
今後、プレイパークの関心を高められるよう、プレイパークに関する周知活動を実施する。

担当課 自由記述欄（※子ども・子育て会議での協議に必要と思われる事項があれば記載してください。また、担当課として本事業シート作成の際に根拠とした資料等があり、子ども・子育て会議の協議に必要と思われる資料がある場合は、別途資料を提出してください。）

・現在のプレイパーク団体が必要となる、プレイパーク場の整備（提供）については、ある程度終了しています。

他課の事業とはなりますが、今後、ハード面（整備・場所の提供）だけではなく、ソフト面（プレイリーダー育成など）の充実が必要になると考えます。